

## SFP+ モジュール (1000/2.5G/5G/10GBASE-T)

## AT-SP10TM/I インストールガイド

このたびは、AT-SP10TM/Iをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。  
本製品は弊社ハードウェア製品のSFP+スロットに装着して、1000/2.5G/5G/10GBASE-Tポートとして使用するためのSFP+モジュール（以下、SFP+と省略）です。本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、本製品を装着する製品本体のマニュアル、リリースノートもあわせてご覧ください。

## 1 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認してください。

- ☐ 本体 1個
- ☐ 製品保証書 1部
- ☐ シリアル番号シール 2枚
- ☐ 梱包内容 1部
- ☐ 英文製品情報 1部

※ 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。

## 2 対応機種

対応機種についての最新情報は、弊社ホームページにてお知らせいたします。  
本製品を装着するハードウェア製品本体のマニュアルとあわせてご確認ください。

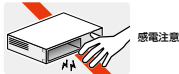
アライドテレシス株式会社 ホームページ

<https://www.allied-teleซิส.co.jp/>

## 3 取り付け・取り外し

## 取り付け・取り外しのときはコネクタ・回路部分をさわらない

稼働中は、製品本体に電気が流れています。感電の恐れがありますので、取り付け、取り外し（ホットスワップ）を行う際は、コネクタの接点部分・回路部分にさわらないように注意して作業してください。

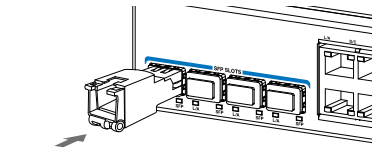


**ヒント** SFP+はホットスワップ対応のため、取り付け・取り外しの際に、本製品を装着する製品本体の電源を切る必要はありません。

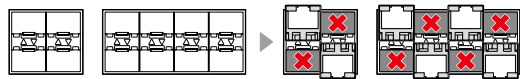
**注意** SFP+の取り付け・取り外しの際には、ESDリストストラップをするなど静電防止対策を行ってください。

## 取り付け

- SFP+ スロットにダストカバーが付いている場合は、SFP+ スロットに付いているダストカバーを外します。
- SFP+ のハンドルを上げた状態で両脇を持ってスロットに差し込み、カチッと合はまるまで押し込みます。



**注意** 2段組のSFP+スロットを持つ製品の場合、本モジュール搭載時、隣接するスロットにはモジュールを搭載できない場合があります。詳細は本体側のマニュアルを参照ください。  
本モジュールは本体の全スロットのうち、半数のスロットにのみ搭載可能です。



**ヒント** お使いの機器によっては、本製品を装着するとSFP+スロットLEDが見えにくくなることがあります（SFP+スロットが複数ある場合は、装着するスロットを変更すると改善することがあります）。

本製品を1000/2.5G/5G/10GBASE-Tポートとしてお使いの場合は、エンハンスド・カテゴリ5以上のUTPケーブル（最大伝送距離は100m<sup>\*1</sup>）、10GBASE-Tポートとしてお使いの場合には、カテゴリ6AのUTP/STPケーブル（最大伝送距離は100m<sup>\*2</sup>）、カテゴリ6のSTPケーブル（最大伝送距離は100m<sup>\*1</sup>）、カテゴリ6のUTPケーブル（最大伝送距離は55m<sup>\*1</sup>）を使用します。

※1 最大伝送距離は理論値であり、実際の伝送距離は使用環境によって異なります。

※2 最大伝送距離は理論値であり、実際の伝送距離は使用環境によって異なります。また、隣接したケーブルや外部からのノイズの影響を低減するため、STPケーブルの使用をおすすめします。

接続先のポートの種類（MDI/MDI-X）にかかわらず、ストレート/クロスのどちらのケーブルタイプでも使用することができますが、不要なトラブルを避けるため、ストレートタイプを使用することをおすすめします。

## 取り外し

- UTP/STPケーブルを外します。
- ハンドルを下げ、スロットへの固定を解除します。次にハンドルまたはSFP+の両脇を持ってスロットから引き抜きます。

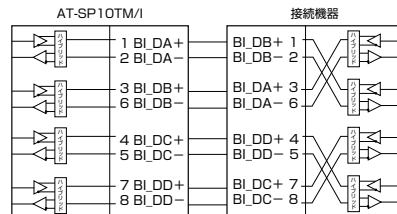
**注意** SFP+を取り外してから再度取り付ける場合は、しばらく間をあけてください。

## 4 インターフェース仕様

RJ-45 型のモジュージャックを使用しています。

コネクタ	MDI	MDI-X
1	BI_DA+	BI_DB+
2	BI_DA-	BI_DB-
3	BI_DB+	BI_DA+
4	BI_DC+	BI_DD-
5	BI_DC-	BI_DD-
6	BI_DB-	BI_DA-
7	BI_DD+	BI_DC+
8	BI_DD-	BI_DC-

ケーブルの結線は下図のとおりです。



## 5 製品仕様

準拠規格	IEEE 802.3ab 1000BASE-T <sup>*3</sup> IEEE 802.3an 10GBASE-T <sup>*3</sup> IEEE 802.3bz 2.5G/5GBASE-T <sup>*3</sup> SFF-8431 SFP+ Electric Specifications <sup>*4</sup> SFF-8432 SFP/SFP+ Form Factor
適合規格 <sup>*5</sup>	CE 安全規格 UL62368-1, CSA-C22.2 No.62368-1 EU RoHS 指令
伝送速度 <sup>*6</sup>	1000Mbps、2.5Gbps、5Gbps、10Gbps
動作電圧	DC3.3V
最大入力電流	0.6A
最大消費電力	1.8W
最大発熱量	6.5kJ/h
環境条件	動作時温度 -40～85℃ 動作時湿度 5～90%（ただし、結露なきこと） 保管時温度 -40～90℃ 保管時湿度 5～95%（ただし、結露なきこと）
外形寸法	SFF-8432 に準拠

※3 本製品を装着するハードウェア製品によっては、選択できる通信速度が異なります。

※4 消費電力を除く。

※5 当該製品においては「中国版 RoHS 指令（China RoHS）」で定められる Environment Friendly Use Period (EFUP) ラベル等を記載している場合がありますが、日本国内での使用および日本から中国を含め海外へ輸出した場合も含め、弊社では未サポートとさせていただきます。証明書等の発行も原則として行いません。

※6 2.5Gbps / 5Gbps / 10Gbps での使用は製品やファームウェアバージョンにより未サポートとなる場合があります。詳細は、弊社ホームページに掲載のモジュール対応表をご確認ください。  
モジュール対応表: <https://www.allied-teleซิส.co.jp/web-material/products/sw-module-list.pdf>

## 6 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正・変更することがあります。弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2025 アライドテレシスホールディングス株式会社

## 7 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

## 8 マニュアルバージョン

2025 年 12 月 Rev.A 初版